

為替市場の動向について

この度の東北地方太平洋沖地震において被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

円相場は最高値を更新

本日のシドニー市場(日本時間 17日 6時すぎ)で円相場が一時 1ドル = 76円 25銭まで急伸し、1995年4月に付けた 1ドル = 79円 75銭を約 16年ぶりに更新しました。11日に発生した東北地方太平洋沖地震と福島原発事故のトラブルの深刻化に伴って、このところ海外投資家を中心に、リスク回避のためのいわゆる円キャリートレード(円売り・外貨買い)のまき戻しに伴う円買いが連日持ち込まれている模様です。加えて、今朝は早朝の市場の流動性が低い時間帯に、個人の為替証拠金取引に伴う損失覚悟の円買いが持ち込まれたことも円高の進行に拍車を掛けたようです。大震災後に保険金支払いに備えた本邦保険会社の円買いや、投機筋による円買いが報じられていますが、今回の円最高値を更新する動きの中では、日本の機関投資家による外貨建て資産の売却や投機的な売買はほとんど見られないにもかかわらず、そういった思惑が先行して円高が進んだ可能性も否定できません。

17日東京外国為替市場の円相場は、シドニー市場で円の最高値更新後に円売り・ドル買いの流れとなったことを引き継いで、午前9時現在、1ドル = 79円 15銭まで円安・ドル高方向に戻す動きとなっています。

今後の見通し

17日午前の円相場は、早朝の値動きを除けば内外の市場参加者からパニック的な円買いは見られず、むしろ急激な円高の進行の反動で 79円台を回復するなど、市場は比較的冷静な動きとなっています。また今後本邦投資家による外貨建て資産の購入期待もあって、一旦円高懸念は和らいでいるようです。また、1995年の高値を更新したことで、さらなる急激な円高が進む局面においては、日銀による円売り介入が実施される可能性もあります。中長期的には、地震や原発事故の影響から日本経済の低迷が予想されることや、国債増発懸念などもあるため、円安傾向を予想する声が聞かれます。

一方で、今回の円急伸局面においては必ずしも投機筋主導の円買いとも考えにくいと、当面は円高水準で推移する可能性も否定できず、直ぐに円安に反転することも期待しにくい状況です。今後の円相場は大きく変動することが予想されるなか、落ち着きどころを探る展開が続くものと見ています。

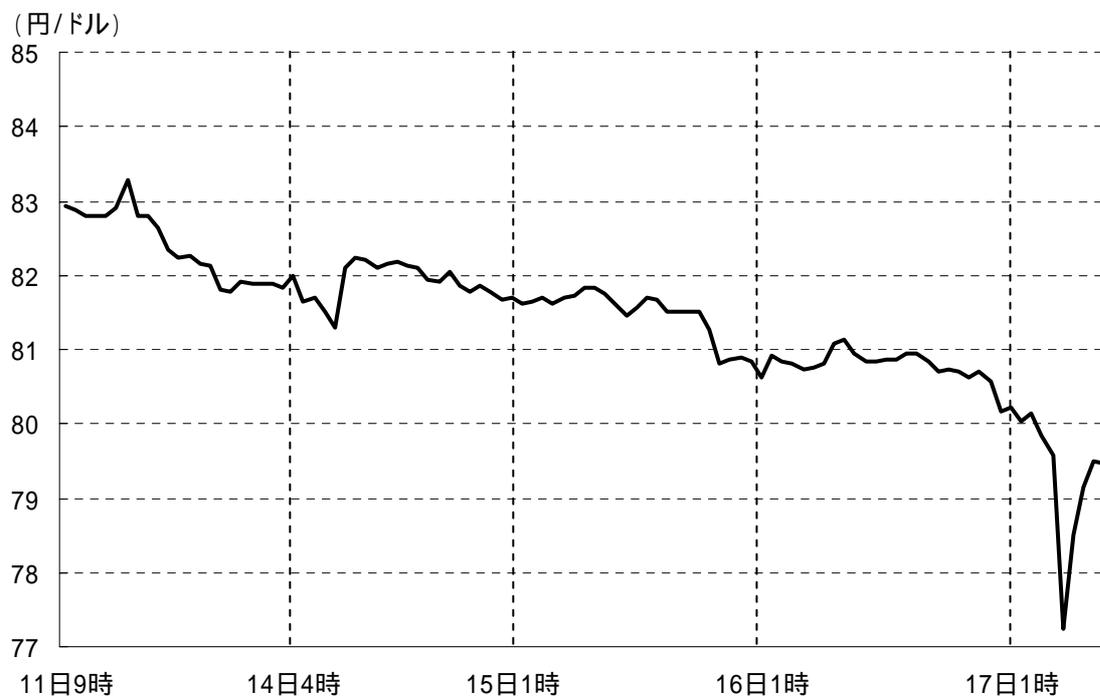
以上

【参考情報】

為替相場(日次) (2010/9/30 ~ 2011/3/17、午前 10 時現在)



為替相場(日中) (2011/3/11 ~ 2011/3/17、午前 10 時現在)



(出所) Bloomberg より DIAM 作成

【投資信託に係るリスクと費用】

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

投資信託に係る費用について

投資信託は、お申込手数料、信託報酬、信託財産留保額等の費用が発生する場合があります。特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

【ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。】

申込時に直接ご負担いただく費用…… 申込手数料上限3.675%(税込)

換金時に直接ご負担いただく費用…… 信託財産留保金上限0.5%

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用…… 信託報酬上限1.995%(税込)

その他費用…… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

投資信託説明書(交付目論見書)等でご確認下さい。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、DIAMアセットマネジメント(株)が運用するすべての投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率を記載しております。

【ご注意事項】

- ・ 当資料は、DIAMアセットマネジメント(株)が独自に作成した資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。
- ・ 当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- ・ 投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
- ・ 当資料は、DIAMアセットマネジメント(株)が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ・ 当資料における内容はあくまでも作成時点(2011年3月17日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

証券投資信託は、

1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

P.3の投資信託に係るリスクと費用、ご注意事項を必ずご覧ください。

DIAMアセットマネジメント株式会社

商号等 / DIAMアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

- 3 - 加入協会 / (社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引によりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会